宮城舞台技術者協会 令和７年度 第３回理事会　議事録

日時	2025 年　5 月　26 日　10 時　30 分 ～　11 時　40 分	場所	株式会社東北共立 ミーティングルーム
議題	・ 令和７年度、サロン開催について ※音響、舞台、照明の各部会でサロンを１回ずつ担当する。		

出席者	岸浪行雄　菊地孝　石井忍　山品晃彦 伊藤幸夫（事務局長）　斎藤環江（事務局） 理事、事務局 6名
決定事項	●令和７年度、サロン開催について 部会主催のサロン開催方法 → 理事会に概要書等提出、諮った後、開催する ●令和７年度サロン予定 2月：事務局側セミナー、5月：照明部会、8月：暑気払い？、10月：音響部会？、12月：舞台部会
議事内容	■令和７年度、サロン開催について ◯５月に開催した照明部会の開催について → 岸浪代表理事に詳細等伝わっていなかった これについては、事務局で再度配信方法等確認する ◯部会主催のサロン開催方法 昨年に引き続き、本年５月に開催した照明部会では、メールにて全会員に企画書等お知らせし、適切に開催していたが、 本来であれば、理事会に諮ってから開催すべきではなかっただろうか？ →　今後は各部会だけの話し合いだけで開催するのではなく、理事会に概要書等提出、諮った後、開催とする ◯舞台部会より、12月に開催したいサロンの内容について、企画書提出（添付書類） → 内容を確認し、部会にてさらに精査することとする。次回の理事会で内容報告をできるよう、12月の開催に向け準備を始めていく。 ◯開催時期の確認 2月：事務局側セミナー 5月：照明部会 8月：暑気払い？（昨年同様、橋本理事に依頼する？？）日程は、一旦、岸浪代表にお渡し。 10月：音響部会？（関部会長、入院中のため、未確認） 12月：舞台部会　（内容等精査に時間がかかるため、12月頃になるのではないか）

「綱場勉強会（仮称）」企画書（案） 0526版

作成／宮城舞台技術者協会　舞台部会 会長　石井　忍　　2025/5/26

主催者名	宮城舞台技術者協会　舞台部会
企画の名称	綱場勉強会　＊サブタイトルは今後検討
開催日時	２０２５年１２月上旬～中旬の平日 劇場も比較的借り易く、参加者も参加し易いであろう平日を検討
開催場所	仙台市内、及び隣接する市町村の[手引き＆電動の綱場]が有る劇場
趣旨・目的	劇場で技術を提供することを生業としている私たち舞台スタッフにとって綱場は特別な場所です。装置を飾ったり転換したり照明や音響機材を仕込むことによって、非日常の感覚や効果をお客様に堪能してもらえる機構であると同時に事故や怪我、時には死とも常に隣り合わせている機構でもあります。舞台機構の進歩で手引きの綱場から電動の綱場にどんどん変わってきている現状ではありますが、少なくとも私たちが現役で舞台で仕事を続ける間に宮城県の全ての劇場の綱場が電動化するとは思えません。 この死と隣り合わせている場所での作業に対して、試験や免許制度がある訳でもなく、先輩から後輩へほぼ口伝で伝えられてきたのが実情です。 結果様々なやり方が様々に伝わって様々に実践されてるのが現状です。 もちろん大道具さんの手法と照明さんの手法が違うのは、その目的や内容が異なるので差異があるのは当然ではあります。また、同業同士でも異なっている場合も見かけます。全国統一の免許制度が導入できるのかは議論を待たれるところですが、一機にそこに行く前に先ずは宮城県の舞台技術者同士で自分たちの現状を勉強会という形で確認しあう機会があっても良いのではないだろうかと考えました。綱場で作業をすることのある多業種のベテランも新人も安全を管理してくださってる劇場技術さんもお互いに話を聞いて発見や再確認や間違いに気付くことや、新しい情報や事故例に触れる機会が有ると良いのではと考えました。 「スタッフのスタッフによるスタッフと出演者とお客様の為の勉強会」 一度開催してみた上での判断になりますが、もしかしたら毎年の開催の意義も有るのかも知れません。
内容（案）	・綱場の構造を知る ・器具の名称を知る ・事故例を聞く ・安全対策を知る ・劇場技術さんの話を聞く・作業手順を知る　・他 皆さんのご提案にて
対象者	当協会員全員（舞台部会員に限らず） ＊協会員以外に広げるべきか否かは今後検討　＊希望者は居るようです。
参加料金	今後検討
備考	劇場施設を管理運営されてる団体様に働きかけて、共催・協賛・後援等を頂くかどうか今後検討
検討課題	綱場に関する免許制度が無い現状で、宮城舞台技術者協会舞台部会が主導して開催した勉強会の参加者が、後日行った作業で事故・怪我が発生した場合の責任はどうあるべきかを考えておく必要があると思います。 なので今のところ講習会とは銘打たず、お互いの勉強会としました。

舞台関係者への聞き取り MEMO

・国際センターでは先輩が新入社員に教えている。他の劇場も同様。[0120]

・講習会を希望する声がある（共立の劇場管理チーフさん、若手さん）[0120]

・勉強会の記録映像を撮って公開してほしい。[0321]

・専門学校で座学は出来るが、実技の授業が出来る機会がない。
実際に体験できなくても映像資料を教材として残してもらいたい。[山品さん]

・看板業者も参加する可能性が大きいと思う[舞台部会 MTG にて]